コンプライアンスを徹底しましょう

義務と罰則

本年のテーマである、安全とコンプライアンス。我々の日常に行う作業もこれに則り、毎日守っていかなければなりません。また企業として、即ち産業廃棄物処理業としても会社が守っていかなければならない事が多くあります。今日、コンプライアンスに従い適正に産業廃棄物を運搬および処分する場合には、積替保管施設の許可が必須のものとなっております。排出事業者よりお預かりした廃棄物を積込み場所以外で保管する、若しくは積み替える場合は、積替保管施設の許可が必要です。これがない場合は処理場に直行しなければいけません。これが守れないと、法的に罰せられる対象となってしまいます。

リスクを知る

コンプライアンスは直訳すれば法令順守です。近年、ビジネスにおけるコンプライアンス違反に対する責任追及は厳しさを増しています。一つの違反で処理業者の許可取消し問題に発展することもあります。処理業者にとって廃棄物処理法の違反は最も大きい経営リスクです。これを防ぐ為にも各自の仕事でしてはいけないこと、危険だと思えることを確認していただき、常に頭の片隅に残していただきたいと思います。

お客様との連携

勿論、我々だけでは難しい部分もあります。お客様である排出事業者様にも協力いただくことが不可欠となります。その為にも日頃からお客様とはコミュニケーションを取り、相互理解のうえでご協力いただける関係を築いておかなければなりません。

外からは分かりにくいと言われる廃棄物処理業界。

だからこそお客様は「透明性」を求めており、管理手順教育などのマネジメントを積極的に示すことはお客様の安心を獲得する大きなアピールポイントとなるのです。コンプライアンスがお客様の最大の感心事である事は忘れてはいけません。

プロとしての行動をとる

以上のことを頭において作業に臨んでください。意識して行動すれば必ず変化が起こるはずです。その変化は必ず皆さんのプラスとなってくるはずです。コンプライアンスを守り、意識を高め、理想的な社員となれるよう努力しましょう。

お客様の望む通りの理想の社員となるべく、常にお客様の前で作業をしているような意識を持って行動しましょう。

①産廃業者のプロとしての誇りを持って行動する。
②守秘義務を厳守する。機密情報の管理体制を整える。
③自らの責任のもと、明快で正々堂々と行動する。
④法令の遵守と社会的な良識を優先とした判断のもと行動する。

禁止事項を知る

先に述べたとおり、コンプライアンス違反には大きなリスクが含まれています。これを防ぐには各自の作業のしてはいけないことを知っておかなければいけません。コンプライアンスを守るというのは、結論としては「悪いことをしなければいい」というだけのことなのです。ただ、一般的な法令の悪いことは統一されていますが、皆さんの各仕事は内容が違うはずです。ですから各自の業務上のしてはいけないことを理解しておいていただきたいのです。気付かないうちに省略してしまっていて出来ていなかったことも、もしかしたらあるかもしれません。正しい業務手順を確認する意味合いも込めて、作業内容の確認は頻繁に行う様にして下さい。コンプライアンスを守り、各自の意識を高め、ヤマモトホールディングスを内面からも外面から見ても美しい企業であるように、皆さんで協力し合っていきましょう。

きれい創造新聞

3月1日発刊
〒612-8244
京都市伏見区横大路
千両松町 196-1
TEL 075-603-5500（代）
FAX 075-623-5511
http://yamamoto-hd.jp
◆発行：(株)ヤマモトホールディングス

3月号
2015 No.14

CONTENTS

1 決まり事を守ろう
2 新入社員紹介
新卒採用のお知らせ
5Rとは
埋め立て地問題
3月のお誕生日
今月のピックアップブログ
3 労働安全報告
お客様紹介
産廃クイズ
インフォメーションコーナー
4 ヤマモトホールディングスの歴史
ゴミ問題による被害
事故ゼロ記録日数

ヤマモトホールディングスの歴史を振り返る

ヤマモトホールディングス発足から初めての設立記念日を越えて、これからも頑張っていく為にも、ヤマモトホールディングスに至るまでの歴史を見直してみましょう。

昭和	24 年	4月 **京都市公認山本衛生開設**
昭和	43 年	4月 **山本清掃に名称変更**
平成	元年	1月 山本清掃サービスに名称変更
平成	4 年	2月 **株式会社山本清掃設立**
平成	9 年	4月 MRC 竣工
		MRC 事業部設立
平成	12 年	9月 MRC 事業部を有限会社エム・アール・シーとして法人化
平成	14 年	3月 **株式会社山本清掃 ISO14001 取得**
平成	14 年	11月 有限会社エム・アール・シーを株式会社に組織変更
平成	16 年	8月 京都クリアセンター（KCC）竣工
		本社所在地を現住所に移転
平成	17 年	11月 MRC リニューアルオープン
平成	19 年	4月 障がい者雇用開始
平成	19 年	11月 株式会社エム・アール・シーを完全分社化
平成	20 年	3月 株式会社エム・アール・シー ISO14001 取得
平成	20 年	7月 有限会社アイリンク設立
平成	20 年	10月 **山本清掃創立 60 周年記念式典開催**
平成	21 年	4月 有限会社アイリンクを株式会社に組織変更
平成	21 年	4月 ハートメディカル事業部設立
平成	21 年	10月 株式会社アイリンク KES 取得
平成	21 年	11月 環境福祉室設立
平成	21 年	12月 KCC サテライトセンター竣工
平成	22 年	6月 京丹波ウエス竣工
平成	22 年	12月 プライバシーマーク取得
平成	24 年	12月 廃棄物管理業務の専門会社として京都建物総合管理株式会社設立
平成	26 年	11月 **株式会社ヤマモトホールディングス設立**

創業者：山本 武雄

1

ごみ問題による被害

我々が普段回収・処分するごみは陸地にあるものが主となっています。しかしゴミはこれに留まらず、海にも流れており、これらを漂流、漂着ゴミまたは海ゴミと呼んでいます。日本の海岸に漂着するゴミは年間で15万トンとされ、これらは海辺での作業時や河川に捨てられたゴミが海まで辿り着いたものが主流です。これらを発生させない為にもゴミの不法投棄を無くさなければなりません。

海外における被害

この問題は国内だけでどうにかできる問題では無くなってきています。実に全体での６％程が日本以外の海外からのものと推定されています。しかしこれに腹を立てる訳にはいきません。日本からの漂着ゴミが海外にも流れているからです。そしてこのゴミが野生動物を殺傷する一因にもなってしまっているのです。ポイ捨てなどと呼ばれては軽く聞こえるかもしれませんが、立派な不法投棄です。これを解決するには国民一人ひとりがゴミをきちんと捨て、我々処理業者が処分場まで運ぶ様にしなければなりません。この問題を解決するために我々にできることが沢山あります。皆で協力しあっていきましょう。

労働災害事故ゼロ記録日数

毎日無事が一番です！
これからも頑張りましょう！

今日で労災無事故 **423** 日です。 2月27日現在

この数字が皆さんの努力を表します。

器物損壊事故ゼロ記録日数

まだまだこれから！
どんどん積み重ねていきましょう！！

今日で物損無事故 **144** 日です。 2月27日現在

一日一日頑張りましょう！

6s の取り組み

整理
いらないものを捨てる

整頓
決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく

清掃
常に掃除をして、職場を清潔に保つ

清潔
3S（上の整理・整頓・清掃）を維持する

躾
決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける

セーフティー（安全）
全てにおいて安全が優先する

事故を未然に防ぐための心得七箇条

一、指差し確認を実践しよう
二、恥ずかしがらずに大声で確認
三、装備の乱れは心の乱れ
四、急がば回れ！余裕を持って行動しよう
五、機材を清潔に保て！
六、コミュニケーションをとれ！
七、ルールを守れ！